

腰椎椎間板ヘルニアに対する

椎間板内酵素注入療法（ヘルニコア）

椎間板ヘルニアとは、椎間板のクッションとしての機能が年齢とともに衰えてくる過程で、椎間板内圧が高まり、やがて椎間板の一部がはみ出してくるものです。そばを走行する神経を圧迫するようになると、おしりから下肢への神経痛、しびれ、運動障害をきたします。

従来の治療としては

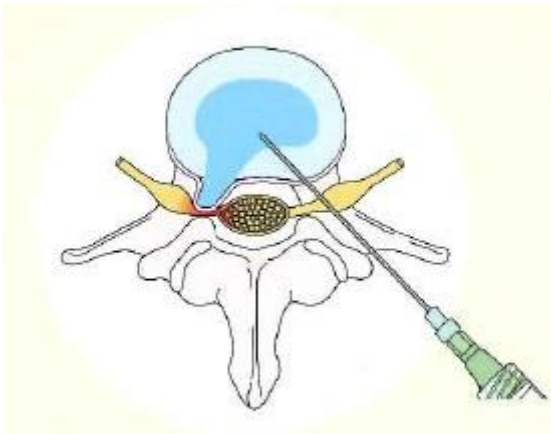
- ① 保存治療（痛み止め、神経ブロックなど）
- ② 手術治療

が行われてきましたが、

保存治療と手術治療の間に存在する治療法として

2018年から保険適応となり導入された治療法がヘルニコアです。

ヘルニコアの有効成分コンドリナーゼは、椎間板を支える保水成分（プロテオグリカン）を分解する酵素です。ヘルニコアを椎間板に注入することにより保水成分が分解されて、椎間板の内圧が減弱すると同時に、神経への圧迫が軽減することが期待されます。



椎間板内酵素注入療法（ヘルニコア）の注意点

- アレルギー体質の方はヘルニコアの治療に注意が必要です。
- 過去に椎間板内酵素注入療法（ヘルニコア注入）を受けたことのある方は、再度この治療法を受けることはできません。
- ヘルニアの形や出ている位置によっては、椎間板内酵素注入療法（ヘルニコア注入）の適応とならないこともございます。

詳細は、冊子をご参照ください。